

(2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計◇件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

(3) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

〔その他〕
ホームページ
http://○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

- 〔雑誌論文〕（計4件）
- ① 学振太郎、半蔵門一郎、学振花子、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）、査読の有無
 - ② 学振太郎、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）、査読の有無
 - ③ 学振花子、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）、査読の有無

〔学会発表〕（計3件）

- ①

〔図書〕（計2件）

- ①

〔産業財産権〕
○出願状況（計□件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：

様式 C-7-2 [作成上の注意]

科学研究費補助金は、国民から徴収された税金等でまかなわれるものであり、研究者は、その成果を社会・国民に説明することが求められています。

自己評価報告書は、当該研究期間の3年度目までに実施した研究の進捗状況等を自己点検により評価するもので、その内容は国立情報学研究所の科学研究費補助金データベース (<http://kaken.nii.ac.jp/>) において広く公開することになります。

この様式の作成に当たっては、次の記入要領にしたがって作成してください。

育児休業等により研究を中断している年度が研究期間の3年目にあたる研究課題については、次年度に自己評価報告書を提出してください。

また、最終年度前年度応募課題が採択された場合であっても、元となった継続課題についての自己評価報告書を作成し、提出してください。

【注意点】

- ①用紙は、所定の様式を使用し、図表等は用いないこと。
- ②使用する文字は10ポイントとし、色文字を使用しないこと。
- ③下記「2. 研究種目」～「6. 研究代表者」の各欄はゴシック体、「7. 研究分野、科研費の分科・細目、キーワード」～「12. 代表的な研究成果」の各欄は明朝体で記入すること。
- ④様式に既に記載している項目名等を修正しないこと。ただし、下記「12. 代表的な研究成果」欄のうち、記載する事柄がない場合（〔図書〕や〔産業財産権〕などで記載するものがない場合）は、適宜その項目を削除すること。
- ⑤全体で2頁を超えないこと。
- ⑥提出の際は、PDF形式に変換し、ファイル名を半角で「課題番号(8桁)+hyoka.pdf」(例:20888888hyoka.pdf)にした上で、研究機関で取りまとめて電子媒体(CD-R)で提出すること。なお、文書のセキュリティは設定しないこと。
- ⑦英語での記入は避けること。

【各項目の記入要領】

1. 機関番号

研究代表者の所属する研究機関の番号(5桁)を記入すること。

2. 研究種目

「基盤研究(A)」、「基盤研究(C)」等の交付された研究種目名を記入すること。

3. 研究期間

補助金が交付される予定の期間(年度)を西暦で記入すること。

4. 課題番号

科学研究費補助金の交付決定通知に記載された課題番号(8桁)を記入すること。

5. 研究課題名

交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。併せて英訳した研究課題名も記入すること。

6. 研究代表者

(1) 氏名及び所属研究機関・部局・職名

研究代表者名は、姓と名の間に空白を入れること。

所属研究機関・部局名(略称可)及び職名は、研究期間の3年目の実績報告書と同一の所属研究機関・部局名・職名を記入すること。

(2) 研究者番号

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)の研究者情報に登録されている8桁の番号を記入すること。

7. 研究代表者の専門分野、科研費の分科・細目、キーワード

研究代表者の専門分野（系・分野・分科・細目表における分野ではなくても構わない）、当該研究課題応募時に研究計画調書に記入した分科・細目について記入すること。

また、当該研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワード（任意で構わない）を1項目以上8項目以内で記入すること。なお、化学式等の使用は極力避けること。

8. 研究計画の概要

本研究課題の目的・内容等について、簡潔に記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

9. 研究の進捗状況

本研究課題でこれまで得られた成果等について、研究方法も含め600～800字程度で記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

10. 現在までの達成度

本研究課題の当初研究目的の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。

<区分>

- ①当初の計画以上に進展している。
- ②おおむね順調に進展している。
- ③やや遅れている。
- ④遅れている。

11. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について、簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。

また、文章に番号を付して整理する場合は、(1),(2),(3)・・・の番号を付し、これを更に細分する場合は①、②、③・・・の順に使用すること。

12. 代表的な研究成果

本研究課題により得られた研究成果（①雑誌論文、②学会発表、③図書、④産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）など）について、項目ごとに実際に行った件数を記入した上で、代表的な研究成果を5件程度記入すること。記入に際しては、現在から順に発表年次をさかのぼり、項目ごとに通し番号を付して記入するとともに、研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線を引くこと。

なお、投稿中の論文等の記入をする場合は、掲載が決定しているものに限る。

論文等の研究成果を機関リポジトリで公開している場合は、論文等にアクセスするためのアドレスを記入すること。

(1) 雑誌論文

著者名、論文標題、雑誌名（大学の研究紀要等を含む）、査読の有無、巻、発行年（西暦）及びページを記入すること。（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。）

(2) 学会発表

発表者（代表）名、発表標題、学会等名、発表年月日、発表場所を記入すること。

(3) 図書

著者名、出版社名、書名、発行年（西暦）及び総ページ数（共著の場合は最初と最後の頁）を記入すること。

(4) 産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権）

産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、出願（取得）年月日、国内・国外の別を記入すること。また、発明者と権利者名が同一である場合には、権利者名の欄には、「同上」と記入すること。

(5) その他

その他、報道関連情報、アウトリーチ活動情報、ホームページ情報（研究成果データベース、ソフトウェア、試作システム等の URL）、などを適宜記入すること。